

阪神・淡路大震災に伴う震災復旧工事に関連する死亡災害について

1 震災復旧工事に関連する死亡災害（平成7年）

		墜落・転落	崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	おぼれ	交通事故	熱中症	その他	合計
建設業		20	6	1	3	2	1	2	35
土木工事	港湾海岸工事業	0	0	0	2	0	0	0	2
	橋梁建設工事業	1	2	0	0	1	0	0	4
	その他の土木工事業	0	0	0	1	1	1	1	4
建築工事	木造家屋建築工事業	12	2	1	0	0	0	1	16
	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事	6	1	0	0	0	0	0	7
	その他の建築工事業	1	0	0	0	0	0	0	1
その他の建設業		0	1	0	0	0	0	0	1
製造業		0	1	1	0	0	0	0	2
その他		1	0	1	0	1	0	0	3
合計		21	7	3	3	3	1	2	40

資料出所：厚生労働省 死亡災害報告

2 死亡災害の特徴

(1) 木造家屋建築工事業における墜落・転落災害12件の内訳は以下のとおり

①屋根改修工事中における「屋根」からの墜落：9件

②外装工事中における「足場」や「はしご」からの墜落：2件

③解体工事中における「養生シートの単管」からの墜落：1件

(2) 災害が多い「建築工事」について、「発生月別」で見ると、23件中16件

(69.6%) が1月～6月までの半年間で発生しており、特に「木造家屋建築工事業」については、16件中12件(75.0%)とその割合が高くなっている。